

花の野 ものがたり

徳永進『野の花通信』より

「作」ふたくちつよし
「演出」中島裕一郎

〔出演〕
杉本孝次
西川明
佐々木梅治
横島亘
みやざこ夏穂
保坂剛大
箕浦康子
白石珠江
石巻美香
藤巻るも
新澤泉
飯野遠
高木理加
野田香保里
加塩まり亜

鳥取に、患者の望むことは
何でもかなえてあげたいと願う
小さなホスピスがあります

〔装置〕 深川絵美
〔照明〕 松島勉
〔衣裳〕 西原梨恵
〔効果〕 吉原敦
〔舞台監督〕 西部守
〔制作〕 上本浩司

〔協力〕鳥取演劇鑑賞会
光子市民劇場
「ラストレイン」加藤休ミ
「サイン」有山達也・山本祐衣

野の花 ものがたり

[作] ふたくち つよし

[演出] 中島裕一郎

徳永進『野の花通信』より

鳥取市にある小さなホスピス「野の花診療所」と、終末医療の現場から発信する心温まるエッセイやレポート、講演などで多くのファンをもつ徳永進院長をモデルに、ペースとユーモアをまじえて舞台化。2017年の初演いらい再演を重ね、このたび地元鳥取市と米子市公演がついに実現しました！

鳥取市の総合病院に内科医として勤務していた徳丸進は、そこを出て町なかに小さなホスピスをつくった。勤務医時代、たくさんの患者の死に立ち会ったが、ほんとうに十分な対応や支えができたかどうか。助けてほしいと訴える人びとをだれでも受け入れ、患者の望むことは何でもしてあげる、そんな場所にしたいと願った。人の死は終着駅なのか。死は悪者なのか、あってはいけないものか……。今日も診療所にはさまざまな病气とそれぞれの思いを抱いた新しい入所者がやってきます。



杉本孝次



西川明



佐々木梅治



箕浦康子



白石珠江



石巻美香



藤巻るも



横島 亘



みやざこ夏穂



保坂剛大



新澤 泉



飯野 遠



高木理加



野田香保里



加塩まり亜

www.gekidanmingei.co.jp


生きることへの案内 徳永進 [野の花診療所 医師]

医療の場（臨床）では死は日常的な現象。戦時下でない平和時の死とは言え、死のまわりには両者を隔てない悲しみ、がある。

医者になったころから、死を前にして身も心も凍てつき、所作も言葉も失う日本人の姿を見てきた。もう少し自由でやわらかな空気を病室に届けることはできないか、と想ってきた。

医療者への死の教育の不足、だけでは事は済まない。死については様々な先人たちが表現してきた。詩人、音楽家、写真家、哲学者、冒険家、ジャーナリスト、宇宙学者。演劇も古くから死を大切な課題にしている。独特な表現方法が、死の本質を違う角度から差し出してきたのだと思う。死への案内は、同時に生きることへの案内。臨床は他から学ばねばならない。

この劇が、日本人の死への思いに小さな変化を生じる一作になれば、と思う。

演じることが生きること、生きることは演じること——。コロナ禍のいま、切実に感じています。みなさまの応援とご支援になぐさめられ勇気づけられています。演劇が、みなさまの生きるよろこびともなり励ましともなるよう願っています。〈劇団民藝〉